

幼年消防クラブ／花火指導

7月16日



上士幌消防署による幼年消防クラブへの花火指導が行われました。今回は、夏の時期に多くの子どもたちが行う「手持ち花火」についての指導でした。

子どもたちは、消防署職員の指導のもと、花火の正しい持ち方や消火方法について学びました。

7月17日

親子でチャレンジ／わくわく料理教室



2～3歳児とその保護者を対象としたわくわく料理教室が、ふれあいプラザにて行われました。

教室では、栄養士から食べ物の絵本の読み聞かせや2～3歳児の食事についての講話があり、引き続き、幼児食の仕上げ作業を親子で行いました。

この日料理したのは、ライスピザ、大根とツナのきんぴら風、バナナもみじユースの3品。子どもらは、ピザの具乗せやバナナを袋に入れてみもみ碎くなど、真剣な顔で取り組んでいました。

「まちなか交流サロン」オープン

7月26日



町内3区の元NPOおびひろ・畜大練成会跡地に、地域交流サロン「まちなか交流サロン」がオープンしました。サロンには、休憩スペースのほか、子どもたちが遊べるよう遊具やおもちゃが置かれています。

運営する町商工会は、「子どもからお年寄りまで、幅広い世代に利用してもらいたい」と話されました。

7月26日

上中陸上部・卓球部、全道大会へ



上士幌中学校陸上部の塚本英麗奈さん(2年)、渡邊夏鈴さん(1年)、同卓球部の鳥切鈴さん(3年)が、全道大会への出場報告のため、教育委員会を訪れました。

3人は、馬場教育長から激励を受けると、ともに大会での健闘を誓いました。

(陸上女子800mに出場する塚本さんは中央左、女子走り幅跳びに出場する渡邊さんは中央右端。)

上高吹奏楽部 地区コンクールで金賞受賞！

第59回北海道吹奏楽コンクール帯広地区予選において、上士幌高校吹奏楽部が、C編成の部で金賞を受賞しました。

顧問の喜尾教諭は、「5年ぶりに2度目の金賞を受賞することができました。上高に赴任した4月以降、ここまで全部員がよく付いて来てくれたと思います。」

「受賞は町の皆さまの応援のたまものと感じています。今後は、恩返しができるよう皆さんに演奏をお聴きいただく機会を設けたいと考えています。」と話してくれました。



部長の佐々木陽菜さん(3A)は中央右、中央は副部長の松尾衣利果さん(2A)。左端は渋川誠人校長、中央左は喜尾知美教諭。右端は馬場教育長。

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

7・8月の まちのわだい



ナイタイ高原ヒルクライム

8月3日

第4回上士幌町ナイタイ高原マウンテンサイクリングが開催されました。ナイタイ高原の澄んだ青空のもと、参加者は、走行距離7km、標高差約400mのコースを自転車で駆け上がらいました。

ゴールした参加者たちは、疲れた様子を見せながらも、皆晴れやかな表情を浮かべていました。



全道大会で躍動ミニバス少年団

8月1日

先月号の広報で、全道大会出場決定と紹介したミニバスケットボール少年団の結果報告が届きました。強豪ひしめく中、結果は4戦全勝という素晴らしい活躍を見せてくれました。

今回は交歓大会のため、順位はつきませんが、冬には全道・全国へとつながる大会が控えています。皆さん、ぜひ応援してください。



夏休み写真特集

▼第13回ナイトinビアパーティー
(ふれあい公園)



►ひふみ屋台村
(パーラーヒカリ
駐車場)



►第3回かみしほろ
子ども夏まつり
(ふれあい公園)



►夏休み子ども料理教室
(ふれあいプラザ)



7/26



8/8



▲2014年上士幌町納涼盆踊り大会
(ふれあい公園)

▲第47回納涼花火大会
(スポーツセンターグラウンド)

地域を変えてく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 「顔覚えていますよ。」

記: 商工観光推進員 後藤 典久



そのような言葉を、バルーンフェスティバルの会場で話しかけられました。「そういえば……」と、第39回大会のときに、会場で話しかけられたお客さまだと思い出しました。

当時、私はぬかびら源泉郷の観光案内所で勤務しており、会場で「ほろんちゃんに会いたいのですが、いつ現れますか?」と尋ねられました。そのお客さまは、ほろんちゃんが大変お気に入りのようで、いろいろグッズを買って楽しんでいる、と話されていました。

そのときは、ほろんちゃんが会場に登場する時間を現場の職員と調整し、その時間をご宿泊のユースホステルさんを通して伝え、対面していただきました。

私としては、多くご来町していただいたお客さまのうちの一組であり、何も特別なことをしたわけではなく、その方以外にも同じ立場の方がいらっしゃれば、きっと同じことをしたでしょう。

このようなお客さまが一人また一人増えることで、観光地は成り立っていくのだろうと日々感じています。



▲バルーンフェス特設観光案内所の様子



▲会場でも大人気のほろんちゃん

上土幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲各クラスで作り上げた色鮮やかな垂れ幕

7月11日(金)～13日(日)に、上高祭が行われました。今年の上高祭は、昨年よりも1日多い、3日間の開催となりました。

上高プラザ・垂れ幕・仮装パフォーマンス・衣装・クラスステージの各部門が、本番に向けて制作・練習に励みました。

垂れ幕部門で優勝を飾ったのは、3年A組(写真右から2番目)でした。クラス実行委員の柴田果穂さんは、「最初は優勝できると思っていませんでしたが、優勝することができました。目標としていた『和』を目指してつくることができました。」と答えてくれました。

仮装パフォーマンスで優勝した3年B組・実行委員の植原更さんは、「みんなに分かりやすく教えるのに苦労しましたが、最終的に全員しっかり踊りを覚えてくれました。」と満足そうに話してくれました。

1年生は今年が初めての中での頑張り、2年生は昨年の経験を生かした工夫でさらにレベルアップし、3年生は最高学年としての実力を発揮して楽しい上高祭となりました。

7月11日(金)～7月13日(日)

努力の末に大成功! 第52回上高祭

文責 木村 淩也

川柳

短歌

开拓の畑に露草繁茂して除くに難しその生命力に
亞麻の花露草の花身近にて農に勤しむ若き日遠き
久びさに車の夫と外に出でて「さあ行こうか」と言葉ありし
雨上がる夜空に花火あがりたり夏惜しみつつ息子とながむ
寝てる間の肩凝るらしこのあさけ左の肩を探みてやりたり
肌を灼くあつさもなくて七月のけふもて終る噴水みやりつ

無沙汰詫び年に一度の墓参り
赤とんぼ夕焼け空に輪を作り
父さんの仕事を僕も手伝いたい
鈴なりのズドウに恩を返される
墓参り亡父へ報告愚痴ばかり
思いつきりたたく太鼓の音が好き
蒔いた豆花いっぱいに秋むかえ
凛として揺れるコスモス秋の風
老いやしく学成り難しもう秋だ
灰色の世の中写すトンボの目
戦争を知らずにやがて徴兵へ
歯並びがどうであろうとスイカ喰う

平成26年 7月末現在の人口	
男	2,405人(-4)
女	2,526人(-5)
<hr/>	
人口	4,931人(-9)
世帯数	2,341世帯(-1)

寄付

▶薮根茂さんは、8月11日に、図書の購入代金として金20万円を寄付されました。

平成26年度ふるさと納税寄付金

7月分	5,093件
83,972,000円	
累計	11,681件
	196,634,201円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

- 上士幌町民憲章
- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
 - 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
 - 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
 - 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
 - 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

白 桜 石 丹 小 小 鈴 垣 米 高 米 坂
石 川 後 池 松 木 大 森 木 森 田
花 裕 昭 由 義 喜 博 誠 真 い さ 子
馨 絵 子 次 子 美 豊 子 樹 也 弓 子

本 高 石
間 木 川
栄 慶 裕
風 子 子



- 真夏の祭典パルーンフェスティバルが開催されました。全国各地から大勢の観客が来られ、大変にぎわいました。
- 私も熱気球に搭乗し、上空から大会の様子を撮影しました。(青空から見下ろす風景は、壮観でした!!) 卷頭特集で開催報告をまとめていますので、ぜひご覧ください。…S
- ミニバスケットボール少年団や上士幌高校吹奏楽部の活躍は、子どもたちが頑張ってるんだから、自分も頑張らなきゃ…と思います。これからも広報誌で大会などの様子を紹介させていただきたいと思っていますので、ぜひ、情報をお寄せください。●一生懸命の姿ってとても素敵ですよね。毎晩、熱闘甲子園を見てウルウルしています。…K